

☆☆☆☆ お知らせ ☆☆☆ 小学校統合の“実行計画”を策定しました！ ☆☆☆ 教育委員会 ☆☆☆

南島原市には31校の小学校（うち分校6校）がありますが、少子化等の影響により、その多くが極小規模校となっています。また、全小学校で151学級ある普通学級の約2割に当たる29学級は、二つの学年が一緒に学ぶ“複式学級”になっています。

このような状況から、南島原市教育委員会では、小学校児童の学校生活における教育環境面の平準化を図るとともに、学力、スポーツ力、集団生活能力の向上など、子どもたちの将来を最優先に考え、“小学校統合及び分校の本校併合”を計画的に進めるための『南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画（以下「実行計画」といいます。）』を策定しました。

「実行計画」では、本市の小学校適正規模・適正配置化の第一段階となる平成29年度までの“小学校統合及び分校の本校併合”の実行方針とその具体的な進め方を示しています。

このお知らせは、「実行計画」を基にし、南有馬ブロックにおける小学校の現状や“小学校統合”の実施方法などをまとめたものです。今後、地域の小学校が変わることになりますが、このお知らせの詳細を御覧いただき、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

なお、「実行計画」は、市のホームページ（教育委員会コーナー）で御覧いただけます。

★最初に、南島原市立小学校のこれまでの児童数の推移を見てみましょう。

平成元年から現在までの児童数は、[表1]のように推移してきました。これまでの24年間で、3,094人の減少（54.8%減）となっています。

[表1] (単位：人)

	平成元年度	平成5年度	平成10年度	平成15年度	平成20年度	平成24年度
加津佐町	858	744	543	411	368	295
口之津町	685	533	397	326	253	237
南有馬町	669	543	423	341	267	220
北有馬町	417	395	336	258	248	221
西有家町	897	815	650	551	488	416
有家町	855	845	747	657	521	457
布津町	497	485	408	317	269	229
深江町	766	751	612	504	513	475
合計	5,644	5,111	4,116	3,365	2,927	2,550



★次に、今後の児童数の推移を見てみましょう。

平成24年度の全児童数は2,550人ですが、今後の5年間で334人が減少（13.1%減）し、平成29年度には2,216人になってしまいます。

なお、平成25年度以降の児童数は、南島原市在住の年齢ごとの就学前児童数を単純加算しています。

[表2] (単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
加津佐町	295	283	264	257	240	214
口之津町	237	238	225	212	205	198
南有馬町	220	207	211	222	222	231
北有馬町	221	194	183	176	165	162
西有家町	416	414	386	394	397	390
有家町	457	446	446	415	412	410
布津町	229	226	226	218	216	211
深江町	475	457	456	422	425	400
合計	2,550	2,465	2,397	2,316	2,282	2,216



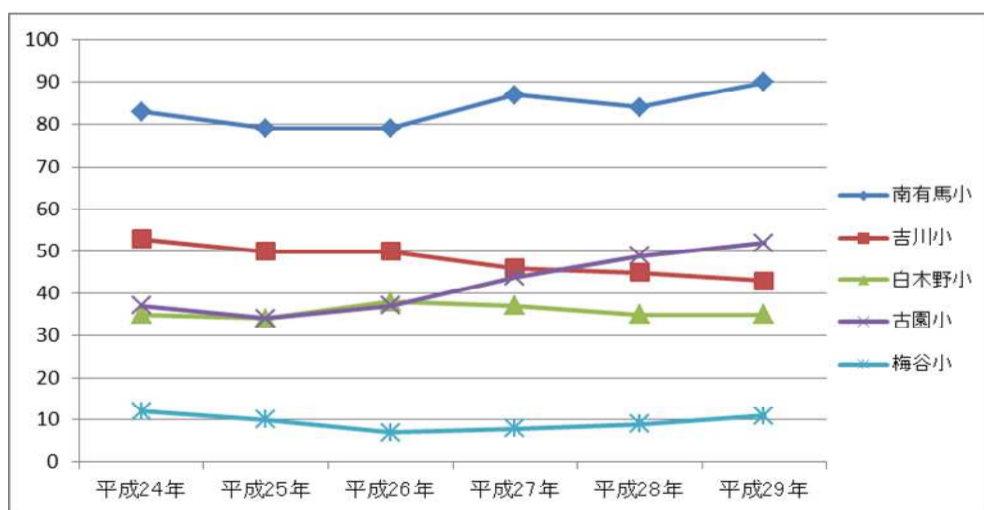
★それでは、南有馬ブロック小学校の現状を見てみましょう。

南有馬ブロック小学校の児童数の推移は[表3]のようになり、全体としては、今後の5年間で児童数の大幅な変動は見られません。

また、平成24年度の学年別の児童数と学級編制は[表4]のようになっていますが、5年後の平成29年度時点には[表5]のようになります。

[表3] (単位：人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
南有馬小	83	79	79	87	84	90
吉川小	53	50	50	46	45	43
白木野小	35	34	38	37	35	35
古園小	37	34	37	44	49	52
梅谷小	12	10	7	8	9	11
計	220	207	211	222	222	231



[表4] 平成24年度現在 (単位：人・学級)

	学年別の児童数							学級編制(普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
南有馬小	12	10	12	20	14	15	83	1	1	1	1	1	1	6
吉川小	7	6	9	12	9	10	53	1	1	1	1	1	1	5
白木野小	6	8	5	7	4	5	35	1	1	1	1	1	1	4
古園小	7	6	4	2	9	9	37	1	1	1	1	1	1	4
梅谷小	2	1	1	1	3	4	12	1	1	1	1	1	1	3
計	34	31	31	42	39	43	220							22

[表5] 平成29年度時点 (単位：人・学級)

	学年別の児童数							学級編制(普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
南有馬小	16	9	28	14	11	12	90	1	1	1	1	1	1	6
吉川小	4	8	8	9	7	7	43	1	1	1	1	1	1	4
白木野小	8	3	6	8	4	6	35	1	1	1	1	1	1	4
古園小	9	9	9	12	6	7	52	1	1	1	1	1	1	5
梅谷小	3	2	2	0	2	2	11	1	1	1	1	1	1	3
計	40	31	53	43	30	34	231							22

★ 現状を把握したところで、南有馬ブロックにおける“小学校統合”の実行方針を見てみましょう。

「実行計画」に示されている南有馬ブロックの実行方針は、以下のとおりです。

●南有馬ブロックの実行方針（原文抜粋）

南有馬ブロックの小学校は、南有馬小学校、吉川小学校、白木野小学校、古園小学校及び梅谷小学校の5校である。

平成24年度において、南有馬小学校を除く他の4校は複式学級を有しており、今後児童数の大幅な減少は見られないものの、児童数が50人を下回る極小規模校となっている。

特に、梅谷小学校は、一学級に2人という極めて少人数の複式学級が存在し、平成25年度以降の児童数は10人以下になってしまう。

また、南有馬ブロック全体の児童数を見ると、平成24年度の児童数“220人”が5年後の29年度時点では“231人”になり、児童数においては若干の増加が見込まれるものの、南有馬小学校を含め、5校とも少人数の学級編制となっており、可能な限り早めの時期の学校統合が必要な段階にあると判断されることである。

しかしながら、これまで基本方針や統合計画骨子案に関する説明を学校別に行ってはきたが、学校、保護者及び地域にとっての統合の在り方や伝統行事等の取扱いなどについては、統合の時期を明確に設定した上で、関係者等との協議・検討を今後も引き続き行っていく必要がある。

よって、これらの実状を総合的に勘案し、南有馬ブロックにおいては、南有馬小学校を拠点校に他の4校（吉川小学校、白木野小学校、古園小学校、梅谷小学校）を平成27年度に統合し、南有馬小学校の1校とする。

なお、梅谷小学校及び古園小学校の児童については、拠点校となる南有馬小学校よりも、それぞれ加津佐東小学校及び有馬小学校が近距離に位置する場合もあることから、通学区域変更の願い出等があった場合は柔軟に対応していくものとする。

★ 次に、南有馬ブロックの小学校統合後の児童数と学級編制を見てみましょう。

南有馬小学校を拠点校に他の4校（吉川小、白木野小、古園小、梅谷小）を平成27年度に統合した後の児童数と学級編制は、[表6] のようになります。

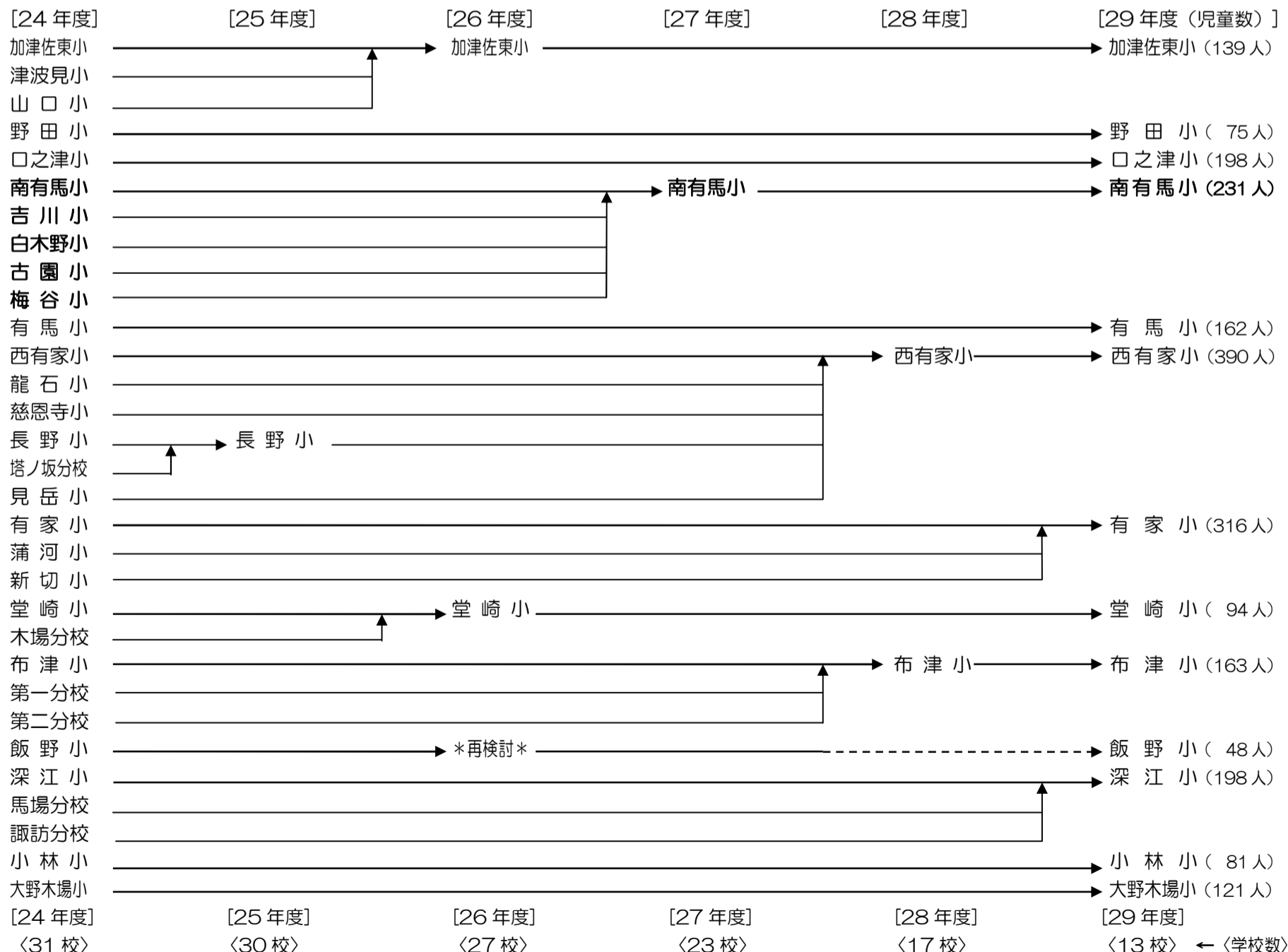
[表6] 南有馬小学校 (単位：人・学級)

	学年別の児童数							学級編制（普通学級）						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H27	53	43	30	34	31	31	222	2	2	1	1	1	1	8
H28	31	53	43	30	34	31	222	2	2	2	1	1	1	9
H29	40	31	53	43	30	34	231	2	1	2	2	1	1	9

※ 国の基準では、小学校は12学級以上18学級以下が標準とされています。

★ 最後に、「実行計画」で示された本市の“小学校統合及び分校の本校併合”の進め方を見てみましょう。

平成29年度までの“小学校統合及び分校の本校併合”は、以下の図のように進められます。分校を含め31校ある小学校は、5年後には13校にまとめられます。これにより、現在151学級ある普通学級は、全小学校で95学級になります。



★ ブロック別説明会の開催についての予告です！！

「実行計画」に関するブロック別の説明会を、本年12月中旬に開催することとしています。開催期日と場所が決まりましたら市の広報やホームページ等でお知らせしますので、多数の御参加をお願いします。